

## 2025年6月 旅行取扱高状況報告

### < 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	21,167,008	19,744,439	107.2%
国内旅行	3,928,419	3,896,179	100.8%
訪日旅行	1,154,120	973,388	118.6%
合計	26,249,549	24,614,006	106.6%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

#### ■ 海外旅行

6月20日より夏の大セールの後半戦として「SUPER SUMMER SALE! FINAL 2025」を展開。海外航空券とホテルを組み合わせた商品「AirZ（エアーズ）」の7・8月出発を対象とした割引クーポンの配布や、日本から直行便の就航がない成田発－カンボジア行のチャーター便の展開など、HISならではの特別施策を通じて、更なる夏旅の需要喚起に努めたとともに、人気の欧州方面を中心に日並びのよい年末年始を含めた早期予約の展開も図りました。取扱高においては、引き続き堅調に推移する欧州に加え、6月以降燃油サーチャージの引き下げや、米ドルが円高傾向にあることから、ハワイ・ミクロネシアの前年同月比が114%、アメリカ西海岸を中心とした北中南米においても115%と上昇傾向がみられた一方で、取扱高を牽引するアジア方面においては、韓国や香港のLCCを中心とした減便、機材の縮小化による影響により、前年同月比96%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比107%の211億6,700万円となりました。

### < 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	前年同月比
アジア	96.4%
オセアニア・南太平洋	120.4%
ハワイ・ミクロネシア	114.2%
欧州・中近東・アフリカ	115.9%
北米・中南米	115.6%

商品別	前年同月比
手配旅行	102.9%
企画旅行	122.0%

チャネル別	前年同月比
店舗	114.5%
オンライン	108.8%

#### ■ 国内旅行

「SUPER SUMMER SALE! FINAL 2025」では、夏旅の更なる集客に加えて、年末年始の旅行の割引クーポンを発行し、早期の需要喚起に努めました。また夏の風物詩である新潟の「長岡まつり大花火大会」や、秋田の「大曲の花火」など花火鑑賞ツアーにおいては、臨場感ある花火を楽しむだけでなく、新幹線利用コース・夜行バスや宿泊コースを造成し、温泉や観光付きなど様々なお客様のニーズにあわせた商品展開を図りました。取扱高においては、「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」©Expo 2025のPRゴールドパートナーとして、更なる盛り上がりを後押しすべく、注目度の高いパソナグループパビリオン予約が確約されたパッケージツアーを中心に予約を伸ばし、関西方面が前年同月比154%と好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比100%の39億2,841万円となりました。

#### ■ 訪日旅行

北米からの団体のシリーズ旅行の需要が、引き続き取扱高を牽引したとともに、HISアメリカ法人や米国の現地旅行会社との連携により、企業の視察旅行などの受客が伸び、取扱高を押し上げました。受客先の地域別では、北海道が前年同月比124%と増加しており、マレーシアからのインセンティブ旅行の受客に加え、FIT（個人旅行）向けの宿泊と送迎を組み合わせたランドパッケージの予約が好調に推移しました。また、グループ会社のジャパンホリデートラベルでは、北海道・富良野と美瑛を巡るラベンダーのバスツアーの予約が前年同月比140%と好調に推移しました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比118%の11億5,412万円となりました。

2025年6月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比106%の262億4,954万円となりました。

## 2025年6月 海外における旅行取扱高状況報告

### < 海外における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	16,861,372	13,968,694	120.7%
アウトバウンド	9,616,290	11,989,227	80.2%
合計	26,477,663	25,957,921	102.0%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※HIS 欧州現地法人の一部と MIKI グループとの統合により調整後の取扱高を反映しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

#### ■海外インバウンド

オーストラリアでは、ANA が日本～パース線を増便したことや、オーストラリア州政府観光局による様々なキャンペーンを通じてロットネスト島に生息するクオッカワラビーの知名度が上がったことで、ロットネスト島を組み込んだツアー人気の高まりを受け、前年同月比 158%と好調に推移しました。インドネシア・バリ島においては、ヴィラタイプのホテルが人気を集めたことによる単価の引き上げと、中国からの受客が増加したことにより、前年同月比 112%となりました。フランスでは、ニースを舞台にした日本の番組の影響もあり、南仏リゾートの受客が押し上げ要因となり、前年同月比 157%と引き続き高い人気をみせました。

取扱高を牽引するカナダでは、主要観光都市であるバンクーバーやトロント、山岳リゾートのバンフ行きの商品が取扱高を牽引し、前年同月比 106%と堅調な伸びをみせました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 120%の 168 億 6,137 万円となりました。

#### ■海外アウトバウンド

ブラジルでは、日系企業のブラジル国内における業務渡航の航空券・ホテル予約手配のほか、駐在員による日本一時帰国航空券の予約が売上に貢献し、前年同月比 110%となりました。イタリアにおいては「2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)」©Expo 2025 へ行く 10 日間以上の長期間滞在団体ツアーの送客が増加し、前年同月比 134%と好調な推移をみせました。

取扱高を大きく牽引するカナダでは、クルーズ商品やカリブ海、メキシコ行き商品の持続的な需要の取り込みを図ったものの、政治的な変化によるアメリカへの渡航の減少などにより、前年同月比 79%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 80%の 96 億 1,629 万円となりました。

2025年6月の海外における旅行取扱高合計は、前年同月比 102%の 264 億 7,766 万円となりました。

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス      I R室：050-1746-4188  
 広報室：050-1746-4177